



勉強法を知らない子供達⑦

● The rumor^㉑/ proved^㉒/ false. ㉓ この文の訳を①「その噂は」②「くだと分かった」③「偽り(の)・誤り(の)」と書いて、「その噂は誤りだと分かった。」とまとめる。これが「恵まれた一部の生徒以外」の生徒に必要な説明だが、ここまで丁寧につけてある本は皆無である。大半はより日本語らしくと考えるのか、「その噂は結局うそだった」式の訳だけ載せる。「その噂はうそにすぎなかった。」その噂は本当ではなかった。」とまでくずすこともある。勿論、これらは全て正解である。

●これは、長文の問題集に限らず、文法の問題集、熟語集、過去問などすべてに共通する特徴である。勿論、中学生の過去問でも同じである。もし御自宅に、高校入試の過去問があれば、ごらんになるとよい。そして、実は、中学・高校の英語の授業も似たようなものである。【①「その噂は」②「くだと分かった」③「偽り(の)・誤り(の)」と理解し、「その噂は誤りだと分かった。」とまとめる。】のような作業が自分でできる習慣がついている人のみが、【その噂は結局うそだった】を理解して伸びていく。

●英語に關してもうひとつ伝えておかないといけないことがある。それは、辞書も含めて、単語の訳についての不都合である。熟語を例にあげよう。① in order to + do ② because of ③ for the sake of の三つとも「〜のために」という訳が与えられていることが多い。だから、一

般の生徒にとつては、三つとも同じような意味とうけとれる。しかし、①は目的、②は原因、③は利益を表すので、その本質が表現された訳が望ましい。具体的には①は「〜するために」②は「〜のせいで」③は「〜の利益のために」のように。しかし、こうして区別してある辞書、熟語集は皆無である。これもやはり、自力で区別することができる生徒のみが、身につけて伸びていく要因である。

●ところで、『勉強法を知らない子供達』のタイトルでの連載ではあるが、こうして考察を重ねてくると、本質的な問題点がうかびあがってくる。つまり、参考書・問題集(教科書も)などの著者は、【①「その噂は」②「くだと分かった」③「偽り(の)・誤り(の)」と理解し、「その噂は誤りだと分かった。」とまとめる。】ことを無意識でやれて、【その噂は結局うそだった】に自力でたどりつける人達であること、また、教師もそういうタイプのひとであること。従って、正しい勉強法を根本から順を踏んで教えることは出来ない人達が多いこと。結果、子供達の多くはきちんとした勉強法を根本から教えられることはないということ。このあたりには教育の混乱の原因のひとつがありそうだ。



●さて、ここから、話を全体的なことにもどしたい。『勉強を知らない子供達』というタイトルでの連載だが、もちろん教師も親も全く指導してこなかった訳ではない。そして、なかには、極めて熱心な親も教師もいるはずだし、いたはずだ。そして、その指導はおそらく**完全なはず**れではなかったと思う。しかし、その方々は

切な前提を無意識に身につけていて、従って、生徒・子供はそれが言葉化されることなく伝えられたというべきである。以下次号 (小林)

理科は面白い？

「理科が分からない！」という中学生が結構多い。確かに、目で見ることができない現象(原子や電流など)が多いため、イメージができないからだと思う。イメージができないまま、イオンを覚えようとか、露点を使って計算しようとか、確かに辛いだろうな、と私も思う。

さて、私が理科を初めて「面白い！」と感じたのはいつだろう。記憶にある限りだと、小学六年生だったような気がする。理科で「扇風機で氷に風を当てるとどうなるか？」という実験をしたときだ。私の予想(仮説)は「風で冷やされるから、氷はなかなか溶けない！」だった。しかし、実験の結果は「ただ放置した氷より早く溶ける」だった。衝撃だった。「なぜ？」が頭の中を走り回り、ちょっとした勉強に対する自信も崩壊してしまった。そのとき、当時の担任の先生(ベテランの先生でものすごく怖い先生でした)が、なぜ早く溶けたかを説明してくれた。「扇風機で熱を含んだ空気を氷に沢山当てることで、空気中の熱が氷により多く伝わり氷を溶かしてしまうから」(多分こんな感じだったかな?)。すぐ納得できなかった記憶はあるが、足りない理科知識は先生に質問してクリアしたとき、「理科ってすごいなあ」と思った。その後、理科を勉強していくと今まで見えていた景色があるときから変わっていった。

中学生の頃、車に乗っていて窓ガラスが曇っているのを父がエアコンを操作して見事に曇りを消してしまうのを見て、中二の「湿度と気温と結露」が関係していることも考えるとわかるようになったし、なぜジュースを飲みすぎると太るのか、についても中二の「消化と吸収」で人間が栄養として吸収するのがブドウ糖で、それがものすごい沢山入っているジュースは当然甘く、太りやすいのは容易に理解できる。また、夜空に輝く月も、満月は夕方以降でないと見えないが、上弦の月は日が落ちる前に南の方角にある、とかも中三の「天体」で理解できる。高校の理科を学ぶと、エアコンの仕組みや電子レンジの仕組みも簡単に理解できるようになるだろう。



一度頑張つて覚えた知識が、時間と共に結ばれていくことで、後半は飛躍的に様々な現象が理解できるようになる。すると、「理科が楽しい！」と実感できるようになるはずだ。今は「理科を覚えて何になるの？」と思う人も多いと思うが、中学生の理科だけだと確かに限界はある。しかし、学んだ人だけが見ることが出来る世界は必ずある。是非、前向きに理科を学んでほしい。中学生、高校生と理科を学び続けた皆さんが、大人になったとき、必ず学んでよかったと思える日がくる。そして、それを自分の子供たちに伝えてほしい。「理科を学ぶと世界が変わる」と。(長坂)

「学ぶ楽しさを知る」

●勉強って大変でもつらいことだ」そのように考えている小学生・中学生、そして高校生は多いのではないだろうか。たしかに、私

自身も小中学生のときは「勉強って大変だ、なぜ好きでもない科目を学習しなければならぬのか……」と考えたことがあります。しかし、みなさんの中にはこんな経験をされた人はいませんか? 「あれ? これまで解けなかった問題が解けちゃったぞ! もっと解いてみようかな?」という経験です。これまでは解けないと思っていた問題を解いたときの達成感はとてもうれしいものですし、学習することが楽しくなる瞬間でもあるのです。

●でも、このような状態になるためには、もちろん苦労も必要です。まずは、ラクな方向に逃げずに勉強に取り組む「忍耐力」。自分には少し難しい問題も粘り強く考える「思考力」。相手にきちんと伝わる解答を作る「論理力」と「表現力」。そしてこれらの力の基礎を支える「語彙力(言語能力)」。これらの力は、すぐに身につくものではなく、長い期間かけてじっくりと鍛え上げていくものです。でも、このような力は学習面だけではなく、皆さんがこれから生きる上でも必要とされる力です。ですから、受験勉強とは「人生の縮図」でもあるのです。そう考えるだけでも「学習することって大事だな」と思えるのではないのでしょうか。



●さて、皆さんが幼いころ、自転車に乗れるようになったときに、家から離れたところまで一人で行き、ちよつとした冒険をしたことはありますか? それまででは見ることもなかった景色にワクワクドキドキしたのではないのでしょうか(そしてたいいていの場合、その後親に叱られますが……)。このワクワクドキドキは学習面でも同じです。学習することで一つ知識を蓄えると、これまで知らなかった部分が見えるようになり、皆さんの世界が少し広がります。そしてワクワクを感じるができます。また、一つ新しいことを知ると、その周辺の知らないことにも気づくことができます。「もっと知りたい」という気持ちになります。皆さんにはぜひこの「学ぶ楽しさ」を知ってほしいと思います。

●創学舎では、皆さんに学ぶ楽しさを知ってもらうために、「論理的思考力」や「語彙力」、「表現力」を身につけてもらえるように日々授業をしています。ノートやワークの使い方、百人一首の暗唱、教科書英文テスト……これら全てが論理的思考力や語彙力、表現力につながっています。先ほども述べたように、これらの力をも身につけるには苦労も必要です。宿題をするのが大変だなと感じたり、厳しく指導を受けたりすることもあると思います。でもこれは、皆さんに学ぶ楽しさを感じてほしいと思っているからです。皆さんが学ぶ楽しさを知り、より良い人生を送ることができるよう創学舎で時には厳しく、時には楽しい時間を共に過ごしましょう。(上條)

受験体験記(大学受験)

★M.Nさん(東葛飾高校)

千葉大学 教育学部 合格

高2の秋まで某予備校に通っていました。高2の冬期講習から創学舎に変えています。私は部活や行事にかなり力を注いでいたのですが、授業以外ではあまり塾に顔を出せない状況でした。そのため、そこでは私は忘

れられたような存在になってしまったので、すぐ近くにある創学舎に変えることにしました。創学舎では、忙しい私のことも気にかけてくださる先生がたくさんいたので、変えて本当によかったと思っています。

創学舎は話しやすい先生が多く、面談もこまめにできたので困ったことを相談しやすい環境にあると思います。また、AO入試や推薦入試に関することにも協力的で、志願理由書を添削していただけたのはとても助かりました。

★S.Aさん(東葛飾高校)

早稲田大学 法学部 合格

私は創学舎の個別に三年間と大学受験部に半年ほどお世話になりました。三年生になってから大学受験部に入ったのですが、最初はそもそも大学入試のために何をどうやって勉強したらいいのかも全くわかりませんでした。そんな中で、先生が何回も面談をしてくださって、毎日の計画の立て方から教科ごとの勉強方法まで丁寧に教えてくださったおかげで不安でいっぱいだった気持ちも、これなら自分にもできると思えるようになってきました。進行状況も細かくチェックして、勉強以外にも時間の過ごし方などをたくさんアドバイスしてくださって、生徒の人数が少ないからこそ一人一人をきちんと見てくださっているのが居心地がいい塾でした。勉強ばかりで辛い中、塾に行くことが楽しくなったことは、心の支えになりました。創学舎に入ってよかったです。

創学舎百人一首大会

6/15(土)

創学舎では、小学生を対象に『百人一首大会』を開催します。創学舎に通っている方はもちろんのこと、普段創学舎に通っていない方の参加も大歓迎です。成績優秀者には豪華景品も用意しています。皆さんの参加をお待ちしています!

- 会場 創学舎 柏教室
- 時間 1:00p.m. ~ 3:00p.m.
- 対象 小学生 全学年
※創学舎にお通いでない方も参加できます
- 申込方法 【在校生】 出場申込書を受付に提出
【在校生以外】 創学舎柏教室で窓口受付または電話受付

